

## 令和7年度 学校関係者評価報告書

大阪市立三津屋小学校協議会

## 1 総括についての評価

- 本年度の学校の自己評価結果は妥当である。
- アンケートでは、いじめがいけないことだと認識していない児童がいる。これらの児童に対して話を聞き、いじめはなぜいけないのかを指導し倫理面での指導も必要である。また、自分の口では訴えることやアンケート等に出てこない「ひそんだいじめ」がある。こころの天気やタブレットの相談機能も活用しつつ、学校は家庭との連携、児童に目配りを行いいじめについてこれまで以上に取組んでもらいたい。
- 社会ではスマートホンでのトラブルやいじめが後を絶えない。三津屋小学校でもこのようなトラブルが増加していると聞いている。SNS やインターネットを扱ううえでのメディアリテラシーを育てるとともに情報モラルや SNS の危険性なども子どもたちに教えていくことが必要である。
- 他者のよいところ認める姿勢は、定着してきている。今後は、自分の良いところや自己肯定感・自己有用感を育てていく取り組みをしてほしい。
- 学習について、単元単元で学習が途切れてしまわないように授業以外にも基礎基本が定着するように取り組んでほしい。学年が上がるにつれ授業についていけなくなる児童も多くなる。日々の取り組みの中で基礎基本の計算力や読解力を定着させる取り組みを行い基礎基本の定着に努めてほしい。

## 2 年度目標ごとの評価

年度目標：

**【安全・安心な教育の推進】**

- 小学校学力経年調査における「将来の夢や目標をもっていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を88%以上にする。
- 学校アンケートにおける「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を88%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を91%以上にする。
- 学校アンケートで「なかよし班活動で協力して（力を合わせて）楽しむことができた。」と答える児童の割合を80%以上にする。
- 学校アンケートで「友達の良いところを見つけている」という旨の回答の割合を88%以上にする。

**【未来を切り拓く学力・体力の向上】**

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を42%以上にする。

- 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を65%以上にする。
- 年度末の校内調査における、「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時間におきていますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。

#### 【学びを支える教育環境の充実】

- 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の82%以上にする。
- 第2期「学校園における働き方推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教員の割合を63%以上にする。

- (1) 基準1 次のア及びイの基準を満たすこと
  - ア 1か月の時間外勤務時間が45時間を超えないようにすること
  - イ 1年間の時間外勤務時間が360時間を超えないようにすること

- 学校アンケートにおける「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を65%以上にする。

#### 評価

#### 【安全・安心な教育の推進】

- ・アンケートでは、いじめがいけないことだと認識していない児童がいる。これらの児童に対して話を聞き、いじめはなぜいけないのかを指導し倫理面での指導も必要である。また、自分の口では訴えることやアンケート等を出てこない「ひそんだいじめ」がある。こころの天気やタブレットの相談機能も活用しつつ、学校は家庭との連携、児童に目配りを行いいじめについてこれまで以上に取組んでもらいたい。
- ・社会ではスマートホンでのトラブルやいじめが後を絶えない。三津屋小学校でもこのようなトラブルが増加していると聞いている。SNSやインターネットを扱ううえでのメディアリテラシーを育てるとともに情報モラルやSNSの危険性なども子どもたちに教えていくことが必要である。
- ・不登校の課題は年々多様化し、複雑化していることから、継続して学校組織全体で総力を挙げて課題解決を目指し取り組んで欲しい。
- ・他者のよいところ認める姿勢は、定着してきている。今後は、自分の良いところや自己肯定感・自己有用感を育てていく取り組みをしてほしい。

#### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・経年調査を見る限り、大阪市の平均であることがわかる。強みも弱みも大阪市と同様なので引き続き弱みの部分を克服できるように日々の授業に努めてほしい。
- ・学習について、単元単元で学習が途切れてしまわないように授業以外にも基礎基本が定着するように取り組んでほしい。学年が上がるにつれ授業についていけなくなる児童も多くなる。日々の取り組みの中で基礎基本の計算力や読解力を定着させる取り組みを行い基礎基本の定着に努めてほしい。
- ・体力向上については、引き続き落ちた体力や運動に関する関心を高めるように努めてほしい。

### 【学びを支える教育環境の充実】

- ・児童の端末の使用は定着してきていることがわかった。しかし、情報モラルや SNS の危険性なども子どもたちに教えていく必要がある。
- ・読書についての取り組みに関しては、引き続き「読書タイム」や「読書週間」、おはなしわくわくや学校司書の取り組みなど、計画的に進めてほしい。
- ・昨年に引き続き読書に力を入れ取り組み読書量が増えたことはわかった。クラスにより差があったと報告を受けているので、来年度は教員間での意思疎通を図り差がなくなりよう取り組んでほしい。

### 3 今後の学校園の運営についての意見

- ・本地域には、好奇心がありやるきに満ちて学ぼうとする素直な子が多いため、そのよさが失われないような教育活動がすすめられることを期待する。
- ・学校だけでなく、家庭の教育力向上も重要である。協力する保護者が増えるよう、ねばり強く連携していくことが必要である。スマートホンの使い方などモラルについて取り組みを行って欲しい。
- ・個に応じた指導をより充実させ、基礎・基本の定着をさせ長文を読みこなしたり、短く文にまとめたりする力を身につけさせる取り組みを引き続きすすめてもらいたい。
- ・算数科においても、最低限の計算ができるよう基礎学力を高めていく取り組みを進めてほしい。
- ・来年度は、創立百周年である、学校、家庭、地域で連携し児童の思い出に残る式典にしてもらいたい。
- ・日々の教育活動を充実させ、本年度課題であった項目について改善して行ってほしい。